

平成 27 年度「第 1 回仕事と介護の両立ワークショップ」開催報告

「第 1 回仕事と介護の両立ワークショップ」

～介護は突然やってくる…!?

そのとき、今の仕事を続けられますか？

【日時】平成 27 年 11 月 16 日（月）18：00～20：00

【場所】長崎大学文教キャンパス 総合教育研究棟

（2 階多目的ホール）

【講師】講演 1：南 涼子 氏（長崎市高齢者すこやか支援課）

講演 2：松本 雄一郎 氏（長崎市地域包括支援センター連絡協議会）

【座長】井口 茂 教授（医歯薬学総合研究科）



平成 27 年 11 月 16 日（月）、長崎大学総合教育研究棟（2 階多目的ホール）にて、「第 1 回仕事と介護の両立ワークショップ」～介護は突然やってくる…!?そのとき、今の仕事を続けられますか？～を開催いたしました。

当日は仕事の都合等により直前でのキャンセルが数件ありましたが、学内外から 47 名の参加者があり、みなさま介護に対する関心の高さがうかがえました。

1. ご挨拶（ダイバーシティ推進センター長 伊東昌子）

最初に、伊東昌子センター長より挨拶がありました。挨拶の中で、文部科学省ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ事業についての説明があり、「ダイバーシティ推進センターでは、女性活躍推進や長崎大学で働く教職員が介護に直面しても仕事や研究と介護を両立できるような支援に取組み、もう 1 つの大きな柱として地域のみなさまと連携して、介護をしている方々をサポートできる仕組みを作っていきたいと思っている。」と述べました。

2. 講演 1（長崎市高齢者すこやか支援課 課長 南 涼子 氏）

講演 1 では、長崎市高齢者すこやか支援課南課長より、「長崎市の高齢者の現状と取り組み」と題し、長崎市の人口の推移や高齢化率の推移、介護保険制度について、認知症について、長崎市の取組み等についてお話いただきました。長崎市の人口は年々減少しているが、高齢者数は増加しており、平成 32 年には人口の 32.7%が 65 歳以上となること、介護が必要な人は後期高齢者に多く、75 歳以上の 41.1%が介護保険認定者であること、介護が必要な人の半数が認知症であること、長崎市が行っている地域支援事業の紹介や認知症高齢者への支援について詳しく説明してくださいました。



写真 1. 伊東センター長



写真 2. 南課長

3. 講演 2 (長崎市地域包括支援センター連絡協議会 会長 松本 雄一郎 氏)

講演 2 では、長崎市地域包括支援センター連絡協議会松本会長より、「長崎市地域包括支援センターの役割について」と題し、平成 18 年 4 月に設置された地域包括支援センターについてお話いただきました。地域包括支援センターは総合相談窓口であり、センターの目的は介護保険法により定められていること、長崎市には 19 か所の地域包括支援センターがあること、地域包括支援センターの事業内容について詳しく説明してくださいました。



写真 3. 松本会長



写真 4. 井口教授

4. 質疑応答

参加者から、実際介護をされていて困っていることや対応策、地域包括支援センターについての疑問点等質問があり、南課長や松本会長より回答いただきました。



月曜日の夜の時間帯での開催でしたが、多くのみなさまにご参加いただきました。センタースタッフ一同、心よりお礼申し上げます。アンケートでは「より詳しく知識を得ました」「知らない内容がほとんどだったので、勉強になりました」「基本を学べたので、今後親が介護状況になったときに役立てます」など、気づきや学びについてのコメントが多くありました。アンケートへご協力いただきましたみなさま、ありがとうございました。

「第2回仕事と介護の両立ワークショップ」を平成28年1月29日（金）に「仕事と介護の両立」を実現するためにどうしたらよいかをテーマに開催します。講師には、この領域の専門家である三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社の主席研究員であり、ワーク・ライフ・バランスや少子高齢化社会対策をご専門とする女性活躍推進・ダイバーシティマネジメント戦略室室長の矢島洋子氏をお迎えする予定です。

長崎大学ダイバーシティ推進センターは、来年度以降も仕事と介護の両立ワークショップを開催していく予定としております。今後ますます介護の課題を抱える人が増加することが確実視されているなか、介護離職を防ぐために仕事と介護の両立支援に取り組んでまいります。